



だっこするよ

令和3年2月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

誰もが存在することが宝 あるがままでいいんだよ

立春を迎えて、子どもも大人も一年間のご褒美をもらっているかのように相思相愛、至福の時間を過ごしています。泣いたり笑ったり喧嘩したり積み重ねが信頼の絆になるのですね。あうんの呼吸で過ごしているのが伝わります。みんないい感じです。

緊急事態宣言が再発令されました。急速に新型コロナウイルスの感染が広がっております。不要不急の外出を避け、感染予防に努めていきましょう。保育室の衛生環境を整えるために大型加湿器を購入しました。園児、職員から陽性者が未だ出ていないのは本当に奇跡です。日々のご協力に心から感謝申し上げます。重ねてのお願いで恐縮ですが、同居のご家族に発熱等風邪の症状があった場合には家庭保育へのご協力をお願いいたします。また、濃厚接触者と判明したり、PCR検査を受ける場合は、必ず、園まで連絡をお願いします。結果が判明するまでは家庭保育へのご協力をお願いします。このように社会が不安定な状況であっても子ども達はいつもと変わらず、元気です。自分のやりたいことに向かって脳も体も動きを止めないで遊んでいます。

さて、園長とのおしゃべり会、普段の子どもと大人の様子をお伝えしたり、子育ての喜びや悩みを気軽に話し合えたらと思いましたが2月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とします。

新しい生活様式も定着して良い点もありました。今までのやり方を見直し、また大切にしたいことは何だろうと考えるようになりました。「今、ここに」一緒に暮らしている当たり前の日常が大切なんだと。人間は誰もが生まれ存在していることに意味があり尊いことなんだよと改めて伝えたいです。存在価値は何か出来るというdo-ingではなく、存在そのものbe-ingだということ。そして、何があっても切り捨てられない、僕がどんなことをしても守ってくれる、愛してくれるという確信、自信が、これからの人生に勇気を与え自分がやりたいことを見つけ未知な世界へも推し進めてくれるでしょう。今から100年生きていく子ども達には、その安心の根っこを張らせてあげたいと思います。「自分はありのままがいいんだ」と思って生きて欲しい、誰もがもって生まれた個性を面白いと認め合い、違いこそ大切にされる社会を創っていったらきっと犯罪も減るのではないのでしょうか。戦争の反対は、平和ではなく対話だそうです。人間の無関心こそ心を孤立させ分離するものですね。ご家庭でも、忙しいときこそ、我が子に興味や関心をもって、1日10分、心をくっつけて抱っこして話しかけて欲しいです。「今日、嬉しかったことは?」「今日の事件?」「どうして空は青いの?」etc...対話を試みましょう。対話しながら「あなたは唯一無二の存在、生まれただけでも尊いんだよ。出会えて嬉しいよ」と伝えて下さいね。皆で幸福になりましょう。

そして、幸福つながりで教育の世界も多様化が広がっています。「オルタナティブ教育」学校教育法でなく自由な理念での教育を目指すものです。学校法人きのくに子どもの村小学校の校長先生のお話を昨年11月の汐見ゼミ合宿で伺いました。「学校は楽しくなければならぬ。自由で幸福な子どもは成長する」と。この学校はないものづくしで、学年がない、テストも通知表もない、時間割がない。「プロジェクト(大工仕事・料理・畑仕事・劇作り・家畜の世話などホンモノの仕事にふれる)」という体験学習が大半をしめる。自分の研究テーマを決めて取り組むそうです。また、世田谷の和光小学校の映画「あこがれの空の下で」を観てきました。やはり、教科書も時間割もない学校、途中から涙が溢れ感動しました。手作りのプリントを作る先生達の情熱、人間を尊重して子どもが本来もっている豊かさを伸ばす...幼児教育もそうでありたいですね。正解は一つではなく、答えが無数にある時代になってきています。写真は つばめ組 ほっこり～みんなで日向ぼっこ